

足寄町立足寄小学校 学校だより

豊穰



朝顔の涼風カーテン

8

2025 (令和7年)
第253号

言葉は心のかけ橋

足寄町立足寄小学校長

池田圭子

言葉が心を通わせる

夏休みを終え、子どもたちの明るい声が校舎に戻ってきました。子どもたちの声が元気よく、明るく言葉が飛び交うと「学校」という建物に生命が宿り、「学校」という場所に変化し、子どもたちが集うと「学校」という『学び舎』に変化すると感じています。学校は様々な言葉が語られ、その言葉一つで、感動し、感嘆し、悲しみ、悩み……。言葉の力、言葉の影響は大きいと日々感じています。

新しい学期の始まりにあたり、「言葉で伝えることの大切さ」について考えてみたいと思います。

作家の武者小路実篤は『友情』(1919年)の中で「人間は言葉によって心を通わすことができる」と記しています。心の中にある思いは、言葉にして初めて相手に届きます。そして受け止めてもらえることで「自分の思いは大切にされている」と感じ、子どもたちの自己肯定感を育てることにつながります。

Challenge! 家庭でのちょっとした言葉

ご家庭の中でも、ほんの一言が子どもを支えます。「お手伝いしてくれてありがとう」と伝えると、「自分は役に立てたんだ」と嬉しくなります。

また時には、親の考えを素直に伝えることも大切です。「◆◆について、あなたはと思う? ○○は△△だと思うよ。」そんな会話をする中で、子どもは「自分も考えていいんだ」と気づき、自分の意見を育てていきます。感謝の言葉とともに、親の思いを言葉で示すことは、子どもの自立へとつながっていきます。

日頃から温かい言葉を子どもたちにかけてくださっている保護者の皆様に、心から感謝申し上げます。

2学期もよろしくお願いいたします

2学期は、修学旅行や学習発表会など、仲間と力を合わせる行事が多くあります。そうした場面で、子どもたちが「言葉」を通じて互いを支え合い、成長していく姿を楽しみにしています。

これからも、ご家庭・地域の皆様と共に、温かい言葉・率直な言葉をかけあいながら、子どもたちの心を大切に育ててまいりたいと思います。どうぞ今学期もよろしくお願いいたします。

Challenge!

地域からのあたたかな声

地域の皆様からの声かけも、子どもたちにとって大きな力です。登下校のあいさつに「元気だね」と声をかけていただだけで、子どもは安心し、励まされます。

日本のことわざに「言わぬことは聞こえぬ」とあります。心で思っているだけでは伝わりません。言葉にしなければ相手には伝わりません。小さな声かけが、思いやりや相互理解を広げ、子どもたちを大きく支える力になります。小さな声かけこそが、子どもを勇気づけ、地域全体で子どもを育てる力になるのだと思います。子どもたちへの声掛けと温かい見守り、いつもありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。

足寄小目指す子どもの姿

本校がめざすのは「自分で考え 自分で決めて 自分で行動する子」です。そのためには、自分の思いを言葉にして表すことが欠かせません。そして相手の言葉を聴き、受け止めることができこそ、互いに協力し合う関係が生まれます。宮沢賢治は『農民芸術概論綱要』(1926年)の中で「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と語りました。

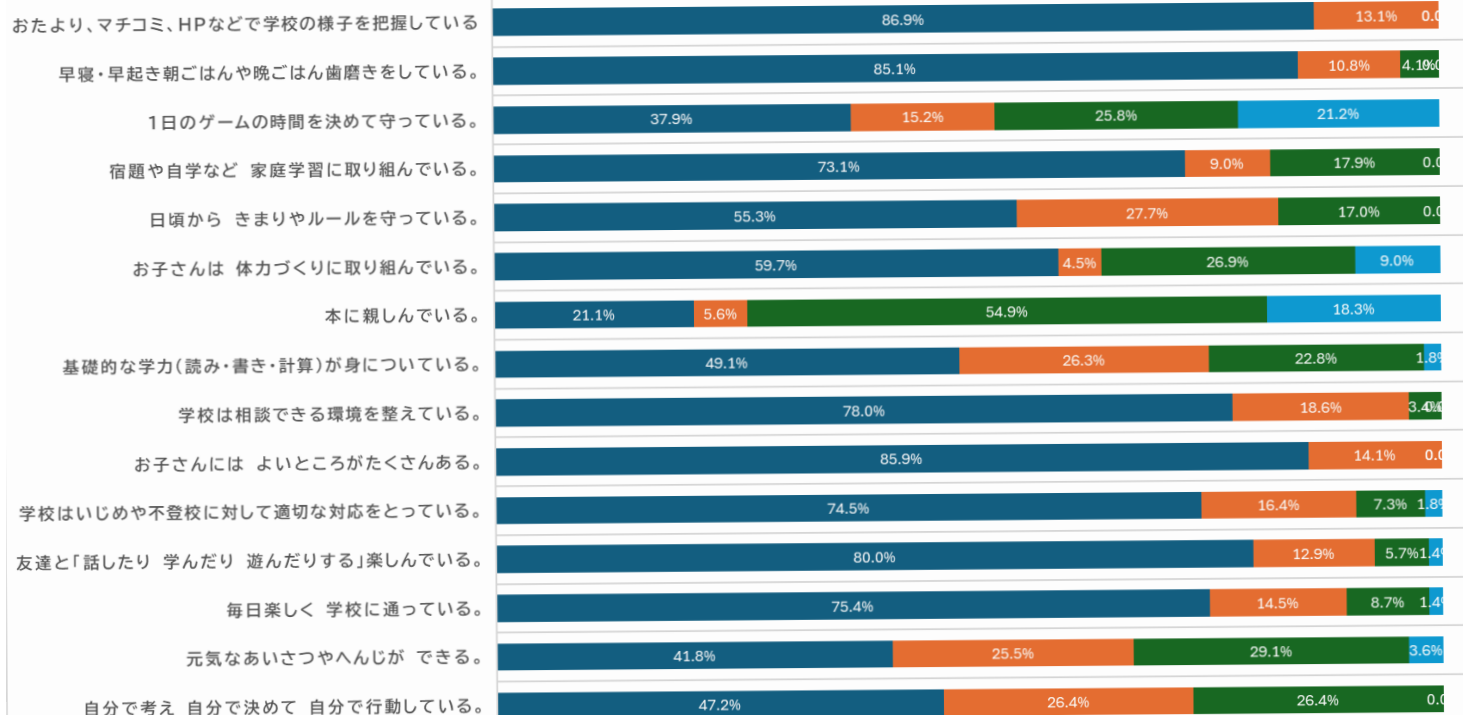
言葉を通じて心を通わせ合うことは、みんなで幸せに生きるための土台なのだと感じます。



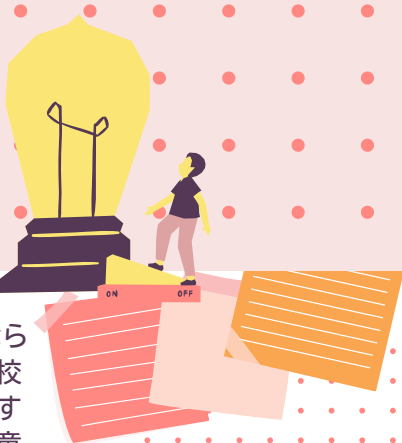
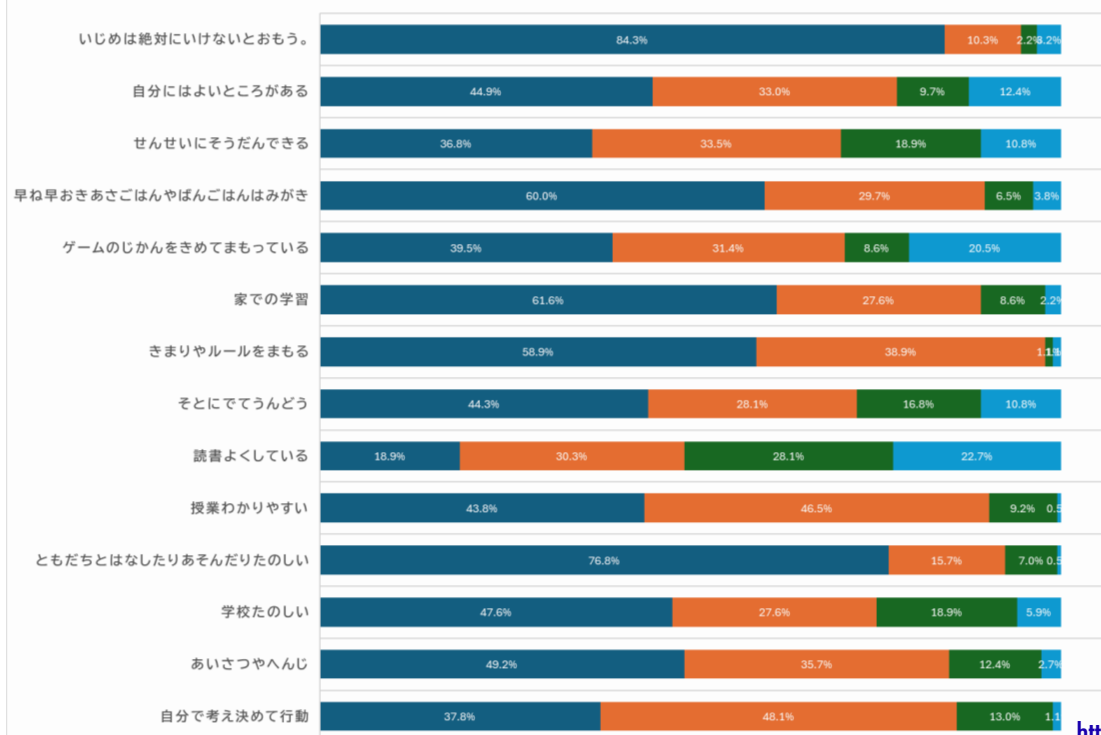
学校評価アンケート【前期】

本校では、児童一人ひとりが安心して学び、自己のよさを発揮できる学校づくりを目指し、教育活動の充実に努めています。その一環として、令和7年度7月に児童アンケートならびに保護者アンケート、教職員自己評価を実施いたしました。今回の調査では、児童の学校生活に対する思いや学習習慣の状況、また保護者の皆様に教育活動やお子さんの実態に関するアンケートをとり、学校全体の成果と課題を整理いたしました。保護者アンケート、児童アンケート結果とその分析結果と今後の改善策についてご報告いたします。

保護者アンケート結果【令和7年7月】



児童アンケート結果【令和7年7月】



児童アンケートから見える 成果と課題

【成果】

- 「いじめは絶対にいけない」と答えた児童が8割を超え、意識が高まってきている。
- 「友だちと話したり遊んだりするのが楽しい」と感じる児童が多く、人間関係が良好な傾向が高い。

【課題】

- ★「授業がわかりやすい」「自分の意見を先生に伝えられる」と感じる児童は半数以下で、学習理解や自己表現に課題。
- ★「読書をよくしている」児童は2割弱と少なく、読書習慣の定着が不十分。
- ★「自分にはよいところがある」と感じている児童は45%に満たず、自己肯定感の育成が課題。

保護者アンケートから見える 成果と課題

【成果】

- 「学校は相談できる環境を整えている」と約8割が回答。学校への信頼感が高い傾向がある。
- 「友だちと楽しく過ごしている」「毎日楽しく通っている」と肯定的な評価が多い傾向がある。
- 「お子さんには良いところがある」と答えた保護者は86%と高く、子どもの良さを認めている。

【課題】

- ★「あいさつや返事ができている」との回答は4割程度にとどまり、家庭・地域での姿を含めて課題が見える。
- ★「本に親しんでいる」児童は2割程度で、読書習慣への課題は保護者からも共通して指摘されている。

児童・保護者共通の 成果

【共通の成果】

- いじめ防止の意識が高く、友人関係が充実している傾向がある。
- 生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）が比較的整っている傾向がある。

保護者・児童の 声から見える 成長と課題

特 集

児童・保護者共通の 課題

【共通の課題】

- ★読書習慣の不足。
- ★ゲームやメディア（スマートフォンやタブレット等）利用の時間管理。

児童・保護者の齟齬

【授業理解】

- 児童は「授業がわかりやすい」と4割程度。保護者は「基礎的な学力がついている」と5割近くが評価。

→ **子どもは学習に不安を感じている一方、保護者は安心している。**

【学校生活の楽しさ】

- 児童は「学校は楽しい」約5割。保護者は「毎日楽しく通っている」7割以上

→ **子どもの実感と保護者の認識に差がある。**

【あいさつ・返事】

- 児童は「できている」5割弱。保護者は「できている」4割程度

→ **家庭や地域での姿を含め、保護者の方が厳しく見ている。**

【自己肯定感】

- 児童：「自分にはよいところがある」45%未満。保護者は「子どもにはよいところがある」86%

→ **保護者は子どもの良さを認めているが、児童本人が実感できていないことが大きな課題。**

課題改善に向けて

学習：「わかる授業」の工夫とふり振り返り活動を通して理解を深め自己表現の機会を増やし、学力向上の取組を開始します。

読書習慣：学力向上の取組とリンクし、長文を楽しく読む、児童の興味・関心を高める新聞を利用した「読む習慣」を身につける活動を週2回実施します。

生活習慣：ゲームやメディア利用について、家庭と連携したりテラシー教育やタイムマネジメントについて考える機会や場の設定をします。

自己肯定感の育成：

- ・授業や生活の中で「よさを伝え合う活動」（ほめ言葉のシャワー、良さを認め合う場面等）を取り入れます。
- ・教師や保護者から「努力や成長」を具体的に認める声かけを積極的に行います。
- ・児童会活動や発表の場を増やし、「自分の役割や強みを発揮できる経験」を保障します。

おわりに

今回の学校評価を通して、いじめに対する強い意識や友人関係の充実など、本校の子どもたちが大切にしている価値が明らかになりました。一方で、自己肯定感や主体性の育成など、今後さらに工夫が必要な課題も見えてまいりました。

教職員一同、児童の声を真摯に受け止め、保護者や地域の皆様と連携しながら、子どもたちが自ら考え、行動し、互いのよさを認め合える学校づくりを進めてまいります。今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



学校評価をもとに ワークショップ開催

7月の学校評価をもとに、夏休みに足寄小学校の教職員で「学校評価検証改善ワークショップ」を行いました。学校評価の児童・保護者・教職員自己評価アンケートを総合的にとらえ、成果と課題を明らかにし（足寄小の実態を明確化）、2学期からどのような教育活動を展開すると教育の質の向上となるか具体的に話し合いました。

自己肯定感

子どもの認識を高める工夫
・フィードバック（適切な）
子どもと大人の認識のズレ

主体性

授業の目標を明確に（学習のゴールを明確に）
学級活動や行事、総合等、地域の中で育まれる

学習指導を通して見える子どもの変容

子どもたちが、「何をどう学び、できるようになるか」を軸に教育活動を進めています。



8月26日の
一コマ

2学期元気いっぱいスタート



1学期終業式は、暑い体育館を避け、空調のきいた教室で放送とビデオを使い行いました。一転、2学期始業式は秋を感じさせる涼しい陽気となり、全校児童が体育館に集まって、始業式を行いました。児童のピアノ伴奏による校歌斉唱の後、校長先生のお話、児童会代表あいさつがあり、各学年代表から夏休みの思い出と2学期の抱負を発表し、子どもたちの意欲喚起となりました。

ニコニコ笑顔で校歌を歌う子どもたちの声が響いていました。足寄小学校の子どもたちの歌声の素敵さに感激しました。また、堂々と発表する子、その話を最後までキラキラした眼差しで聞き入る子どもたちでした。

各学級で2学期の目標を立てました。目標を達成できるように「自分で考え、自分で決めて 自分で行動」する2学期にしてほしいです。

9月行事予定

- 1日(月) 水泳3年・北海道シェイクアウト
- 2日(火) 武蔵野大学プレ実習・評価業務
- 3日(水) 水泳6年・フッ化物洗口
- 4日(木) 評価業務・特別支援合同交流会
- 5日(金) クラブ
- 8日(月) 評価業務・水泳1年
- 9日(火) 森林学習5年
- 10日(水) 避難訓練・フッ化物洗口
- 11日(水) 修学旅行～12日・水泳3年
- 12日(木) 修学旅行・見学学習1年・水泳4年
- 16日(月) 評価業務

- 17日(水) 水泳5年・フッ化物洗口
- 18日(木) 水泳6年
- 19日(金) 児童会・水泳4年
- 22日(月) 水泳2年
- 24日(水) 指導主事訪問・フッ化物洗口
- 25日(木) 知能検査1年・水泳5年
- 30日(火) 地層学習・学習発表会特別時間割開始

学校への質問・ご意見・ご要望等ございましたら、
学校（25-2114 校長・教頭・担任）まで
遠慮なくご連絡ください。